

## 関連産業振興委員会

関連産業振興委員会では委員会全体の運営を取りまとめる運営委員会のもと3専門委員会を置き、経済環境、技術環境等の外部環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、JIRA 関連産業(モダリティ機器、ソフトウェア、周辺機器、関連用品、関連工事、測定管理、保守サービス等)の発展振興のための施策を企画、推進する。

JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025 を受けて、関連産業振興委員会としては今後3か年に以下の事業活動に注力する。

コロナ禍で活動の制限を受けている最中、実現が可能な内容に絞って活動展開を図る。

- WEBを含めた委員会活動を通じて地方企業が参加し易い様に連携を図り、会員企業の拡大に繋げる。
- 医療法改正と医師働き方改革をチャンスと捉えて新たな製品、サービスを提供出来るよう情報を共有する。
- JSRTとの連携強化により、線量管理、感染予防の様々な課題に対して産業側としての解決推進を図る。
- また、AI等の新たな技術分野に対して、JSRTと連携しながら議論を深める機会を設け、これらの新技が、関連産業振興委員会企業にとってどのような影響が生ずるか検討する。
- 委員会内の役割分担を明確にし、世代交代も含め委員会活動の活性化を図っていく。

### 1. 運営委員会

関連産業振興委員会各専門委員会の活動状況等の情報共有並びに各専門委員会が抱える課題解決について協議する。

### 2. 教育・研修・交流専門委員会

上半期(4月～9月)は新型コロナ感染対策観点で、行事は実施せず委員会開催のみとする。

下半期については(10月～翌年3月)の活動計画は上半期中に委員会開催を行い議論した上で決定する。

### 3. 学術専門委員会

引き続き、日本放射線技術学会(JSRT)との連携を主体に事業を推進する。

2021年度の事業計画としても、これまでの活動を継続し、総合学術大会、秋季学術大会、東京支部大会(春、秋)での共催イベントの企画運営を行う。以下を重点項目として推進する。

- 日本放射線技術学会(JSRT)との関係強化
  - JSRT学会でのJIRA発表会、JIRAワークショップ等の活動を通して、学会メンバーとの関係を築き、認知度をさらに上げていく。
  - AI等の新たな技術分野に対して、JSRTと連携しながら議論を深める機会を設ける。
- 学会時のJIRA発表会、JIRAワークショップの活性化
  - 機器展示への集客プロモーション目的で、機器展示のリンクを含め相乗効果を出せるよう仕掛けを作る。

### 4. 地域連携専門委員会

引き続き、研修会・講演会等の実施を推進する。

- 年1～2回程度企画する(新型コロナウイルス感染症対策を考慮して、原則Web形式とする)。
- 施設見学会は無。
  - テーマ案として、①最新の医療機器・医療技術の知識・動向 ②薬機法の動向、医療行政のトピックの解説。
  - JIRA部会・委員会と協力・連携して、計画・実施する。
- JIRA会員企業への地域連携専門委員会への登録参加を呼びかけ、参加会員企業を拡大する。

- ◆ 研修会・講演会などの企画に参加の会員企業に対して、委員会の PR と勧誘を行う。
- ◆ 関西及び中部地域での会員企業の登録参加を拡大する。
- 関連産業振興委員会への登録参加も併せて呼びかけ、関連産業振興委員会全体の活動の活性化に寄与する。
- 地域の医療関連団体、診療放射線技師会、放射線技術学会との連携・交流を増進する。